

今年こそ みなさんと力を合わせ 政治を前に進める年に



向って左から仙波みのるさん、おりかさ明実区議、中江秀夫区議、和泉なおみ都政対策室長、新井杉生17区国政相談室長、渡辺キヨ子区議、中村しんご区議、三小田准一区議

日本共産党 葛飾区議団だより

発行 日本共産党
葛飾区議会議員団
3695-1111 (内2821)
責任者 濱川ひとし

日本共産党区議団の
ホームページをごらんください。

<http://www.cpi-media.co.jp/jcp-katusika/>



立党の精神にたった 被災地支援ボランティア

昨年三月十一日に東日本大震災が起こり、二万人近い方々が亡くなったり行方不明となつています。その後起こった東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射線の甚大な被害もあり、今でも住んでいたところに帰れないたくさんの方々がいます。

日本共産党は、「国民の命とくらしを守る」という立党の精神から、災害が起こった直後から現地でも全国からも被災地の救援と復興のために全力を尽くしています。

日本共産党葛飾区議団も、五人の議員全員が被災地を訪れ、支援物資を届けたり、ボランティアとして復興の支援にあたってきました。

日本共産党に全国から寄せられた募金は九億円を超えて



被災地で泥出しをする共産党のボランティア

耐震改修の助成が大幅アップ

党区議団の永年の論戦実る

昨年九月の第三回定例議会に旧耐震基準の木造住宅に対する耐震助成が、高齢者や障害者のいる世帯、木造密集地域に限定して一件八十万円から百二十万円に拡充され、耐震診断を無料としました。これは機会あるごとに議会に取り上げてきた区議

団の成果ともいえます。しかし、区内には旧耐震基準の木造住宅が三万戸あり、さらなる拡充のために頑張ります。最近、多くの自治体で住宅リフォーム助成が人気です。小規模な改装や修理に対して区が助成するもので、区民からも工務

店などからも喜ばれています。耐震改修には、これも活用できるのではないのでしょうか。

LED化助成復活

昨年夏に行われた、節電対策としての事業所の証明の高効率化、LED化に対する助成も、党区議団などの要請に応える形で、昨年十二月から今年の三月九日まで再度申請を受け付けています。

定額医療費やめよの 意見書、全会一致で採択

昨年末の第四回定例区議会に、政府が行おうとしている「定額医療費」についての請願が葛飾医師会より提出されました。

「定額医療費」は、初診料とは別に一回の診療ごとに百円を徴収するというもの。このようなものが持ち込まれたら日本の皆保険制度は崩壊する。是非やめるよう議会の意思として政府に意見書を挙げ、てほしいという主旨の請願です。

日本共産党はもちろん、自民党・公明党も賛成しましたが、政権与党の民主党さえも賛成せざるを得なくなり、全会一致の採択となりました。

所管の保健福祉委員会の名で、同趣旨の意見書が提案され、本会議でも全会一致で採択されました。

民主党政権の「税と社会保障の一体改革」と称する中身が、いかに国民とかい離しているかということの証明ではないでしょうか。

被災地へ七回

新井杉生党国政相談室長



日本共産党の
新井杉生十七区
国政相談室長は、

震災直後より七回にわたって被災地の宮城県石巻市をおとづれ支援の活動を行ってきました。民家やお寺の泥出しや炊き出し、物資の配達などあらゆる活動を行ってきました。現地は、

徐々に平静に戻りつつありますが、全体としてはまだまだ復興とはいえず、息の長い支援が求められています。

冬場はなかなか動きが取れず大変ですが、新井杉生室長は、被災地の要請に応え、これからも時間をやりくりして支援を続けていくそうです。みなさんの被災地に対する温かい支援を、これからもどうぞよろしくお願ひします。

放射線から子どもたちを守り、 原発なくせの声を大きくあげよう

「汚染状況重点調査地域」指定のため 早期申請をと区議団が区長へ要望書

十二月二十一日、日本共産党葛飾区議団は区放射線対策室長と緊急に懇談を行い、青木克徳区長宛に「『汚染状況重点調査地域』の指定について」の要望書を提出しました。

環境省は、福島第一原発事故による放射能汚染で、十二月十九日に一〇二の市町村を「汚染状況重点調査地域」に指定しました。ところが、東京23区で空間放射線量がもっとも高い葛

飾区が指定されず、新聞報道では、区が申請を見送ったと報じられました。この点について尋ねたところ、室長は、除染について例示はあるものの明確な基準が無いこと、補助金についても具体的内容が示されておらず、したがって区民に説明ができないので、検討を見合わせたとのこと。

その上で、国の指定は今回限りではないので、基準が明確になれば区としても検討するということでした。

日本共産党区議団と地域の人たちが協力して、子どもたちを放射線の影響から守ろうと公園・児童遊園などを自主的に測定していますが、既に一六〇〇地点を超えています。区議団では、結果を団のホームページにリンクしているブログに立ち上げ、誰でもインターネットで閲覧できるようにしています。

「青空ブログ葛飾区の放射線測定」下記URL
<http://aozora2011.blog.shinobi.jp/>

区民の自主測定 千六百地点超

う基準が国から示される中で、区民の期待がひろがっています。早期に国の指定を受けられるよう申請することを区議団として要請しました。

「コミュニティ施設など 貸出料を値上げ

葛飾区は、来年度より集い交流館（集会所）などの利用料の値上げを第四回定例議会に提案し、与党の賛成で決定されました。

区民にとって一番身近な区の施設を、定期的に見直して値上げする区の姿勢は、区民の生活の状況を全く分かっていないと批判されても仕方ありません。



自民・公明・民主など 脱原発の請願を不採択

昨年末の議会で、市民団体から出されていた「脱原発」の請願を自民、公明、民主など与党の反対で不採択にしました。

不公平な公共施設の貸出では？ サッカー・スクール施設での区民の態度

葛飾区は、区長がFCバルセロナのオフィシャルスクールを誘致しようと、この団体のために週四日、東金町運動場の優先使用を認めようとしています。

日本共産党区議団は、先例となっている福岡県に現地調査に行ってきました。福岡県では、市民の利用を優先したうえで、施設に空きがある場合のみスクールの利用を認めているとのことでした。

区内の別の市民団体がJリーグ参加をめざすクラブチームを結成し、この東金町運動場の使用を求めようとしていることが新聞報道されました。区長が「一団体を特別扱い」するとうしたことが加速しかねません。

地方自治法では、公の施設の利用について「不当な差別」を禁じており、一部の団体への優先利用は認められません。

区民の施設を独断で一民間団体に優先使用させる、区の姿勢が問われることとなります。

生活相談 無料法律相談

区内で週に1回の割合で無料生活法律相談を行います。震災についてもご相談下さい。（事前に連絡をお願いします）



和泉なおみ 党都政対策委員長
03-6971-2101



仙波みのる地域
080-1375-117006



第三金曜日
おりかさ明実区議
090-1352-416719



第一水曜日
渡辺キヨ子区議
080-6700-05960



第四水曜日
中江秀夫区議
090-1276-15756



第二木曜日
三小田准一區議
090-1804-011181



第三水曜日
中村しんご区議
090-1988-612671



昨年9月19日、明治公園で行われた「さようなら原発集会」でのパレード

「これじゃ、生きていけません」の声を

石原都政は、巨大開発に血道をあげ、懲りもせずオリンピックに税金をつぎ込もうとしています。その一方で、都



民の切実な要求である放射線対策になかなかその重い腰

を上げません。今年は介護保険料・国民健康保険料・後期医療保険料の値上げも計画されています。おまけに消費税増税、年金減額、社会保障後退、保険料値上げ。

「これじゃ、生きていけません」の声を上げましょう。区市町村への財政支援を拒

み、国の悪政にも口をつぐんでいる都政を「都民目線」へと、一緒に変えましょう。

震災を通じて表された国民の温かい思いやりや連帯が、冷たい政治を溶かし、前に進める原動力に発展するよう、今年も皆さんと力をあわせて頑張ります。

党都政対策委員長
和泉なおみ